

## 「港区海岸2丁目計画」「太倉裕沁庭」で 「2018年度グッドデザイン賞」を受賞

積水ハウス株式会社は、集合住宅「港区海岸2丁目計画<sup>※1</sup>」と、中国の集合住宅「太倉裕沁庭（タイソウユーチンテイ）<sup>※1</sup>」の2点で、「2018年度グッドデザイン賞」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会、10月3日発表）を受賞しました。

### 2018年度グッドデザイン賞 受賞

#### <住宅・集合住宅部門>

- 集合住宅「港区海岸2丁目計画」（東京都港区）
- 集合住宅「太倉裕沁庭」（中国・江蘇省太倉市）



GOOD  
DESIGN  
AWARD  
2018

今般の受賞についての評価ポイントは以下の通りです。

#### 港区海岸2丁目計画（東京都港区）【審査員評価コメント】

良質な賃貸住宅は、居住の流動性の高い都市にとって重要なストックである。とくにこの計画の立地は、東京の水辺空間の景色を形成する重要な場所である。構造的な合理性に基づいて立体的なプランニングを通して様々な形状のワンルームを計画し、それが多様なライフスタイルに対応するだけでなく、外観にもその様々なプランニングが表情を与えており、東京の水辺に楽しみな住まいの景色を作り出している。また、すっきりと水辺につながる接地階のデザインも好感が持てる。構造・ライフスタイル・景観の3点から普遍的なワンルームの提案として評価できる。



#### 太倉裕沁庭（中国・江蘇省太倉市）【審査員評価コメント】

中国において日本のデベロッパーが建築のクオリティを向上させるためにゼネコンの機能を自ら背負うなど、品質管理に積極的に取り組んでいる。このものづくりへの姿勢は大いに評価できる。日本が、コンドミニウムというドメスティックな領域で海外に活路を見出すとすればまさにこの点にコミットメントする必要があることを痛感させる。また、中国には珍しい高級コンドミニウムにおけるモダンデザインと、有機的なランドスケープが融合して、質の高い住環境を作り出している点も傑出している。



グッドデザイン賞とは、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。公式サイト：<http://www.g-mark.org/>

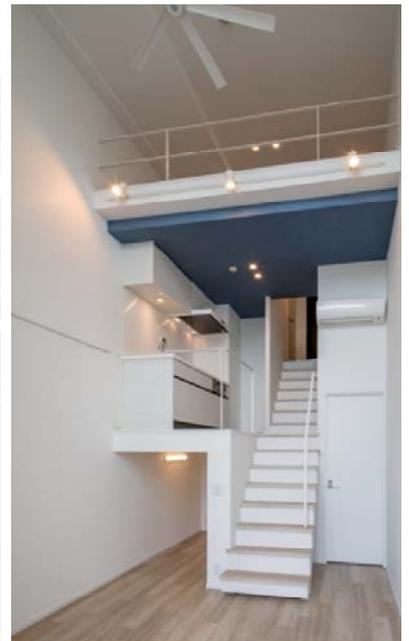
※1 2点それぞれ、積水ハウス株式会社と株式会社坂倉建築研究所の共同受賞です。

## <受賞プロジェクトの紹介>

### 港区海岸2丁目計画（東京都港区）

都心の運河に面した、96戸の賃貸集合住宅。建築可能な最大ボリュームの中に、床面積だけでは評価できない吹抜・ロフト等の付加価値スペースを挿入する方法により、敷地の法条件を室内の質の高さに還元して、全ての住戸の快適さ・多様なライフスタイルの実現を追求しました。事業性／ライフスタイル／構造デザイン／景観を、水辺の稀有な立地に呼応させた、高密度な計画。大梁を規則的に抜くという架構ルールを採用する事で、合理的な構造システムでありながら、多様性のある一体的な水辺景観を実現。ワンルームを中心とした都心水辺の賃貸集合住宅で、良質な住宅ストックの要求に応える空間構築のプロトタイプを提案しています。

都市での多様化するライフスタイルに対応する住まい方を提案し、次世代まで引き継がれるワンランク上の賃貸住宅を展開。25㎡でありながら、2人で住むことも可能なメゾネット+ロフト付きワンルーム住戸、ファミリータイプ住戸等のバリエーションを、単に階別に水平展開するのではなく、立体展開し、様々な住まい方を可能にしました。また、水辺景観と室内の連続する魅力を奥行と一体感のある豊かな立面景観で表現。「都心特有のとても小さな賃貸住戸の反復」を感じさせてしまうのではなく、立面の複雑性が住戸同士の境目を消失させるような効果を生み出しています。かつての街並みと、海水浴場であった等の歴史の記憶を、屋外共用空間や仕上げ素材に継承。意匠と構造が統合された設計により、新たな水辺の景観とライフスタイルを実現する空間構築となっています。



左上・中央下／居住者用の木デッキ

中央上／建物外観

左下・右／メゾネット住戸

#### 【物件概要】

事業主体：積水ハウス株式会社  
設計：株式会社坂倉建築研究所  
所在地：東京都港区海岸2-2-9  
竣工：2018年3月  
敷地面積：747,42㎡  
建築面積：459,92㎡  
延床面積：4198,82㎡  
構造・規模：RC造・地上12階  
用途・住戸数：集合住宅96戸（賃貸）



## 太倉裕沁庭（中国・江蘇省太倉市）

太倉裕沁庭は積水ハウスが中国・上海近郊の太倉市で開発・分譲した511戸の大規模住宅開発事業です。1住戸の面積が約190㎡～360㎡と、日本の一般的な集合住宅の2倍～4倍の広さがあり、中国富裕層に向けた高品質で「安心・安全・健康」を備えた快適な住まいづくり・コミュニティづくり・まちづくりを形にしています。中国ではバラバラに行われがちな「設計」「施工」「品質管理」「アフター管理」のあり方を、日本のモノづくりの視点から見直し、新たな一貫したシステムとして再構築しました。

都市が育ててきた文化や環境に、住空間の品質や意匠に日本のデザイン要素を取入れ、自然豊かで快適な、良質で持続可能な「まち」と「住まい」を創造するプロジェクトを展開し、中国の住宅開発事業に新しい風を吹き込んでいます。具体的には5つの手法を採用。

- ① 「内装付き住宅」（中国では「スケルトン販売」が一般的）  
工業化部材の積極的採用や適材適所の収納設置等により、空気環境に配慮した機能的かつ高品質な内装を実現。
- ② 「住棟の曲線状配置」（中国では同形状建物の並列配置が多い）  
視線や風の抜けをつくり変化に富んだ景観を創出。
- ③ 「シンプル+モダンな外観デザイン」  
(中国では内部機能と無関係で装飾過多な古典様式外観が多い)  
建物の内部機能と外観デザインを合致させ、さらに水平方向の広がりを感じさせるデザインにより、他と差異化。
- ④ 「内断熱」（中国では外断熱が一般的で表面材の耐久性が低い）  
断熱を内断熱とし、耐久性のある外装材を使用。
- ⑤ 「管理会社の設立」  
(中国では販売後のサービスや計画等維持管理のケースが少ない)  
きめ細かなアフターサービスを実施。建物だけでなく植栽の維持管理等も積極的に行い、樹木の生長とともに時間をかけてランドスケープを形づくる日本的な経年美化の手法を実現。

【CHINA HP】太倉裕沁庭 <http://tc.sh-yuqin.com.cn/>

### ■住宅開発事業のスキームデザイン 従来の中国の事業スキーム



### 本事業でのスキーム



太倉裕沁庭 鳥瞰写真 葉脈をイメージしたランドスケープ



上/建物外観 下/住戸内部

#### 【物件概要】

事業主体：積水ハウス株式会社	設計：積水ハウス株式会社、株式会社坂倉建築研究所
所在地：中国・江蘇省太倉市	竣工：2016年9月
敷地面積：78,746㎡	建築面積：15,718㎡ 延床面積：197,127㎡
構造規模：RC造 地上23階+ 地下1階	住戸数：511戸 駐車台数：地下1,022台+ 地上20台